

## 西鉄電車、「モビリティサイネージクラウド」初導入！

8月28日（日）オープンの春日原駅新ホームにおいて、デジタル時刻表で駅サービスの向上を目指します

西日本鉄道株式会社（本社：福岡市博多区 代表取締役社長執行役員：林田 浩一 以下、西鉄）は、西鉄天神大牟田線連続立体交差事業の一環として整備された春日原駅の新ホームに、株式会社YE DIGITAL（本社：北九州市小倉北区 代表取締役社長：玉井裕治 以下、YEデジタル）が提供する、モビリティサイネージクラウド「MMvision」を導入し、2022年8月28日（日）より運用を開始いたします。

西鉄グループのバス事業でも導入が進んでいるスマートバス停のノウハウを活用した「MMvision」は、デジタル時刻表の表示、ニュースや広告との一体運用、遠隔配信の機能を生かした年末年始などの変則的なダイヤの対応および緊急時の運行情報の配信が可能となります。

西鉄電車での「MMvision」導入は今回が初めてとなり、春日原駅の上下線ホーム（各ホーム2基、計4基）に設置いたします。お客さまの見やすさに配慮した時刻表および豊富な情報発信で、駅サービスの向上を目指します。

### 《今回のポイント》

#### ① ユニバーサルデザインにも着目！時刻表の拡大表示を採用

- 当該曜日の時刻表を大きく表示、さらに現在時刻帯も拡大表示することで、目の悪い方や高齢者にも、より分かりやすい表示を実現。

#### ② 豊富な情報発信で電車待ち環境を向上

- 共同通信社のニュース/天気予報と広告を一体運用。最新情報を発信し、ご利用者様の電車待ち環境を向上。
- 広告運用を実施することで、広告収入による維持管理費の軽減。

西鉄は、今後も駅サービスの向上および駅業務の効率化に取り組んでまいります。

YEデジタルは、より活気あふれる「まちづくり」に向けモビリティサイネージクラウド「MMvision」の導入事例を積み重ね、交通事業者様、地方自治体様とともに、お客さまの利便性の向上と公共交通の発展に貢献してまいります。



※ 記載されている会社名、商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

### 本発表に関するお問合せ

#### <モビリティサイネージクラウド「MMvision」に関して>

株式会社 YE デジタル マーケティング本部広報部

電話：(093)522-6563 メール：press@ye-digital.com

#### <モビリティサイネージクラウド「MMvision」設置について>

西鉄お客さまセンター(Tel：0570-00-1010)まで

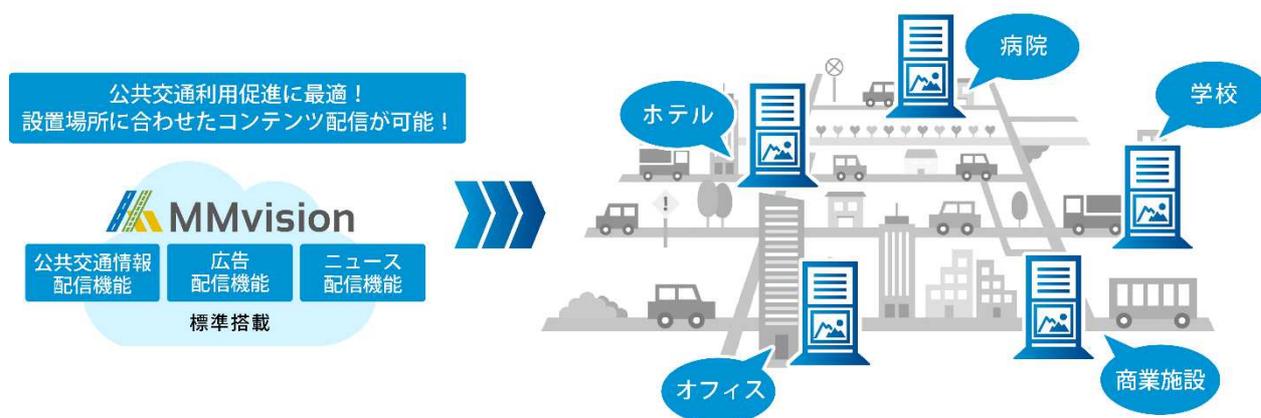
(参考)

## モビリティサイネージクラウド「MMvision」とは

モビリティサイネージクラウド「MMvision」とは、広告やお知らせ等を配信する従来のデジタルサイネージ配信システムの機能に加え、交通情報（時刻表や運行情報）の配信が可能な、デジタルサイネージ配信プラットフォームです。

スマートバス停で得たノウハウを活用し、商業施設・オフィスビル等のバス停以外の場所でも交通情報の発信・共有をすることで、公共交通全体の利便性向上・利用促進を目指し開発されたものです。

IoT 技術により情報配信先であるデジタルサイネージの稼働状況監視や、システム更新等は遠隔操作でできることから、サイネージのメンテナンスにかかる負担の軽減も可能となります。



### ◆特長

#### ●IoTでサイネージ管理

- ① クラウド型なので複数拠点へ一括配信も可能です。簡単に同じ交通情報・広告・ニュースなど配信できます。
- ② デジタルサイネージの遠隔監視、死活監視機能も標準搭載。現地に行かずとも状態監視が可能です。

#### ●無線ネットワーク環境対応

- ① 無線ネットワークの通信環境もセットでご提供します。配線不要で取り付けが可能です。
- ② 屋外対応のサイネージもご提案します。屋外や半屋外などのネットワークが届かない所にも設置が可能です。

### ◆コンテンツ配信機能

#### ●「公共交通情報表示機能」「ニュース配信機能」を標準搭載

外部コンテンツの配信機能で、共同通信社と提携したニュースや公共交通の接近情報などを配信できます。

#### ●レイアウトフリーで自由に表現可能

画面上のどこに何を配置したいかエリアを決め、自由に定義可能。エリアごとに配信するコンテンツを登録すると完了です。